

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 野村広志	1 所信表明について	(1) 今回の市長選挙の経過と結果を踏まえ、今後の市政運営に対する考え方を問う。 ① 住みやすく、魅力ある「新しい志布志市」とは何か考えを問う。 ② 移住定住につながる子育て支援の在り方について考え方を問う。 ③ 医療体制の現状を踏まえ、今後の地域医療の在り方について考えを問う。 ④ 志布志港に期待される様々な背景を踏まえ、本市の基幹産業である農業発展のために、どのように寄与させていくのか考えを問う。 ⑤ 市役所の庁舎の在り方について考えを問う。 ⑥ 行財政改革における、財源の確保と事業の選択について考えを問う。 ⑦ 市内全域における地域の特性を生かした、公平・平等な新しいまちづくりについて考えを問う。	市 長
2 小野広嗣	1 所信表明について	(1) 政治姿勢について ① 今回の市長選挙の投票結果で示された市民の思いを、どのように受け止めているのか。 ② 市長のまちづくりの基本は、市民が主役のまちづくりを推進し、市民生活の利便性を図ることにあると理解するが、実現に向けた方策として、市長のリーダーシップや職員の意識付けについて考えを問う。 ③ 「もっと市民の声をしっかりと聞く」ことの必要性を述べているが、今後の市民とのコミュニケーションづくりの方向性について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	1 所信表明について	<p>(2) 政策ビジョンについて</p> <p>① 住みやすい、魅力ある新しい志布志市  「若者に魅力あるまちづくりを進めるために、10年後を見据えた将来性のある事業を展開する」とあるが、現時点での展望を示せ。また、「志布志地区の資源を総合的に保存・整備するために歴史のまちづくり事業を推進する」とあるが、それは、本市がこれまで取り組んできた施策の延長線上にあるのか、視点を変えた新しい展開になるのか、その方向性について問う。</p> <p>② 安心して子育てができるまち  『子育てするなら志布志市』と言われるように、移住にもつながるような子育て支援策に取り組みないか、保育料の軽減等も含めて総合的に検討する」と述べ、「様々な支援策により、行ってみたいまち、住んでみたいまち、住んでよかったまちを目指す」とあり、それには市内横断的な視野と施策が必要と思うが、実現に向けた考えを問う。</p> <p>③ 身近で安心な医療体制の充実  緊急医療体制の充実が必要不可欠であるとの認識から、「産科医を含め緊急医療体制が整った病院を志布志市に持ってくることができないか、関係機関や大学等と連携して検討する」とあり、この問題はこれまでも様々な検討がなされてきたが、未だその方向性は見えていない。市長の現状認識と、問題解決に向けた意気込みを問う。</p> <p>④ 海外市場も視野に、基幹産業及び商工観光業等の振興  「旅行エージェントとの企画ツアーやスポーツ合宿等、今後志布志航路のさらなる利用促進など観光振興に努める」とあるが、将来的にクルーズ船の誘致などに取り組む考えはないか。</p> <p>(3) 新しいまちづくりについて  「松山地域、有明地域、志布志地域という言い方に変えていき、それぞれの地域の長所や特性を活かして『オール志布志市』でまちづくりを推進したい」とあるが、実現するための方策について問う。</p>	市 長
	2 教育行政について	(1) 教育大綱に掲げた目標の見直しを検討するのか。また、児童生徒の学習意欲の向上や、確かな学力の向上へ向けた今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
3 青山浩二	1 市内高等学校の支援について	<p>(1) 志布志高校スクールバスが平成29年9月から減便になって以来、高校・保護者から便数の復元に向けての要望を多く聞く。保護者等からの要望は届けられていないのか。また、以前のような体制に戻す取り組みは考えられないのか問う。</p> <p>(2) 志布志高校への支援事業として、志布志市内の生徒に限り、スクールバス代2分の1を支援しているが、生徒確保の観点からも、志布志市外のバス利用生徒にも支援することはできないか問う。</p> <p>(3) 各種検定受験支援補助金は、志布志高校と尚志館高校の特進科及び普通科の生徒を対象にしているが、尚志館高校の他の学科の生徒にも支援できないか問う。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>
	2 住宅政策について	<p>(1) 有明地域で、人口減少、児童・生徒減少、地域活性化対策として取り組んでいる地域活性化住宅が、平成30年9月を皮切りに、順次15年の契約満了を迎える。現在、市と入居者、また所有者と入居者とで協議がなされているが、その内容と今後の方向性及び対策について問う。</p>	市 長
4 八代 誠	1 公共事業について	<p>(1) 東九州自動車道の整備関連工事において、市内に本社を置く建設会社の受注実績と、今後の発注見込みについて問う。</p> <p>(2) 総事業費約106億円という「国際バルク戦略港湾」としての志布志港港湾整備事業が開始される。市内に本社を置く事業者の参入を図れないか問う。</p> <p>(3) 東九州自動車道の曾於弥五郎インターと都城志布志道路の有明北インターを連結するアクセス道の整備を要望する考えはないか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 市内農家の農業従事者確保について	<p>(1) 市内の農家における農業従事者確保の現状について問う。</p> <p>(2) 農業従事者への雇用促進に対する補助制度は検討できないか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 平野栄作	1 地域活性化について	<p>(1) 志布志港周辺地では、道路網の拡充により、更なる進展が期待され、更に当該地域への人口集中も予想される。一方、その後背地である農村部においては、高齢化の進展に加え、新規住宅用地の確保等も見込めず、人口減少に歯止めがかからないのではと危惧されることから、以下の点について問う。</p> <p>① 公的な住宅政策をどのように展開していくのか。</p> <p>② 空き家調査等を実施しているが、その情報をどのように活用しているのか。</p> <p>③ ピーマン以外の作物での新規就農者対策も力を入れていく必要があると感じるが、他組織と連携した取り組みを行うことは考えていないのか。</p>	市 長
	2 公民館運営について	<p>(1) 各地区公民館では、これまで地域の特性に合わせた活動を展開し、地域内の交流促進等を図ってきている。また、自治会未加入、戸数減少、児童数減少、校区活性化に向けた取り組み等、課題が山積している現状がある。このような中、公民館助成金が一律カットされていく現状を踏まえ、以下の点について問う。</p> <p>① 公民館への支援の見直しはできないか。</p> <p>② 小規模の公民館においては、移住定住が進まない中、地域力による課題解決を図る取り組みが必要となる。これらの点を加味し、小規模公民館へ配慮した助成の在り方は検討できないか。</p>	市 長 教育長
6 市ヶ谷 孝	1 所信表明について	<p>(1) 「係制からグループ制への移行を検討」とあるが、導入の過渡期に住民サービスの質の低下を招かないように配慮する必要があると考える。今後の方針についての考えを問う。</p> <p>(2) 人口減少対策として「起業支援センター」や「移住定住支援コーディネーター」を設置し、各種支援を行っていくとあるが、具体的な展開について問う。</p>	市 長 市 長
	2 道路行政について	<p>(1) 市内には、地元住民が長年要望を上げながらも様々な要因で整備されていない未舗装道路が多く存在する。それらの整備について、どのような展望を持ち、取り組んでいく考えなのか問う。</p>	市 長
7 久井仁貴	1 人口減少について	<p>(1) 人口減少問題が世間で騒がれているが、人口減少がもたらす課題をどのように捉えているのか問う。</p>	市 長
		<p>(2) 人口減少対策として、本市はどのようなことに取り組んでいこうと考えているのか問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7 久井仁貴	2 所信表明について	(1) 所信表明の中で、政策実施においては「市民目線」と「市民が主役のまちづくり」が基本となると述べているが、「市民目線で市民が主役のまちづくり」に基づく具体的な取り組みと、市役所職員の在り方について問う。	市 長
	3 資源ごみの回収について	(1) 資源ごみ回収の現状と今後について問う。 (2) 志布志市ポータルサイトのごみ収集日程表について問う。	市 長 市 長
8 鶴迫京子	1 所信表明について	(1) 政策ビジョンの「身近で安心な医療体制の充実」について ① 「大隅 4 市 5 町保健医療推進協議会では、特に不足している産科医療体制につきまして、広域で医師確保に取り組んでいる」とあるが、現状を問う。 ② 「今後、都城志布志道路や東九州自動車道など、インフラ整備がされ、交通アクセスが充実してくるが、産科医を含め緊急医療体制が整った病院を志布志市に持つてくることができないか、関係機関や大学等と連携して検討する」とあるが、どのように取り組んでいくのか問う。 ③ ひとり親家庭医療費助成事業の窓口申請の簡素化について、平成28年12月定例会で一般質問したが、その後の進捗状況を問う。また、重度心身障害者医療費助成金支給申請についても、重度心身障がい者にとって困難を強いられている一連の処理を、医療機関と行政の連携により簡素化するべきであると考えるがどうか。	市 長
9 岩根賢二	1 ワンストップ窓口の設置について	(1) 所信表明に「行政は最大のサービス業」とある。このことを具現化するために「ワンストップ窓口」を設置する考えはないか。	市 長
	2 庁舎の在り方について	(1) 所信表明によると、庁舎の在り方については移転ありきの論調であるが、もっと幅広く市民の意見を聴くべきではないか。	市 長
10 福重彰史	1 政治姿勢について	(1) 選挙を通して何を感じたか。 (2) 市民によっては、期待と不安が交錯していると思うが、そのような不安をどのように受け止めているか問う。	市 長 市 長
	2 公約について	(1) 市長退職金の返上について ① なぜ返上する考えなのか ② 今後の返上までの事務手続きについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
10福重彰史	2 公約について	(2) 本庁舎の在り方について ① どのように考えているか、基本的な考え方について問う。 ② 志布志支所に移転する本庁機能とは、具体的にどういったことなのか問う。	市 長
	3 道路行政について	(1) 県道柿之木志布志線の弓場ヶ尾地区の改良計画の見直しについて問う。	市 長
		(2) 県道塗木大隅線の宮下地区についての改良計画はどのようなになっているか問う。	市 長
		(3) 市道上松段馬場線の松山支所前から松山小学校方向への改良計画はいまだ具体的に示されていないが、今後の取り組みについて問う。	市 長
4 農業振興について	(1) 水田基盤整備の進捗について問う。 (2) 整備後の不良農地の現状は。また、それに対する対応は万全であるか問う。	市 長 市 長	
11丸山 一	1 植物の保護について	(1) 貴重なフクロハイゴケ、バクチノキについて現状の認識と対応策を問う。	市 長 教育長
	2 農作物のブランド化について	(1) コシヒカリの作付けが主流であった早期米について、夏ほのかへの品種統一が図られたが、現状においては知名度が低いためネオニコチノイド系農薬の不使用を絡めたPRをすべきではないか。	市 長
	3 防災について	(1) 津波避難タワー設置について、現状と今後の進め方について問う。	市 長
12小園義行	1 政治姿勢について	(1) 所信表明で「志布志支所に本庁を置き、新たなまちづくりを推進すべきである」と述べられ、今後段階的に実行していくことを表明されているが、今後4年間の取り組みを問う。あわせて、これまで12年間の議会での議論をどう受け止めているのか問う。	市 長
	2 選挙の対応について	(1) 今回の選挙に関する問い合わせ等への対応について問う。	選挙管理委員会 委員長
		(2) 障がいを抱えている市民の投票の在り方について、投票しやすい環境を整えるべきではないか。	選挙管理委員会 委員長
	3 国保税について	(1) 本市の税の滞納による差し押さえの状況を問う。	市 長
(2) 国が示している国保税の滞納処分の基準をしっかりと守れているのか。		市 長	
4 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金は75歳以上の全ての人に支給するように見直す考えはないか。	市 長	

# 一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
12小園義行	5 学校教育について	(1) 学びやすい環境を作り、安心して学習に取り組めるように、各学校にエアコン等の設置は考えられないか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 行財政運営の健全化について	<p>(1) 平成28年度から平成32年度までを期間とする中期財政計画の目標達成に向け、これまでの実績や、これからの財政状況の見通しを踏まえ、今後どのような具体的な目標を定めて行財政改革につなげていくのか考えを問う。</p> <p>(2) ふるさと納税等による財源確保への取り組みは成果が見受けられる。今後の更なる自主財源の確保に向けた考え方を問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
2 小野広嗣	1 施政方針について	<p>(1) 7つのまちづくりの基本目標の第4「生き生きと笑顔で暮らせるまち」の項で、高齢者福祉について方針が示されているが、政府は本年2月に「高齢社会対策大綱」を閣議決定している。大綱は日本が高齢社会にどう対応するかを指針であるが、本市ではこの指針を受けて、高齢社会にどう対応していくのか問う。</p> <p>① 分野別基本的施策の1、就業・所得の項の「エイジレスに働ける社会の実現に向けた環境整備」について。</p> <p>② 分野別基本的施策の3、学習・社会参加の項の「学習活動の促進」と「社会参加活動の促進」について。</p> <p>(2) 基本目標の第7「市民とともに歩む「ムダ」のない経営」の項で、「行政は最大のサービス業」であることを常に意識するよう、職員の意識向上に取り組み、職員一丸となって市政運営に邁進するとあるが、それには職員の力、やる気に応える適材適所の人事異動を行うことが大事である。市長の人事異動の考え方について問う。</p> <p>(3) 基本目標の第1「郷と郷、人と人、物と物のつながりのあるまち」の項で、「コンビニ交付サービスの導入・検討について委員会、専門部会を開催し、システムの選定に取り組む」とある。多様化する住民の行政ニーズに適切に対応していく取り組みであると期待するが、導入に向けての課題、システム構築にかかる経費や運用コストについて問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 住宅政策について	<p>(1) 市営住宅入居に際して、最近では連帯保証人を確保することがますます困難な状況にある。時代に即応した、連帯保証人要件を無くす条例改正も視野に入れ、検討すべきではないか。</p> <p>(2) 昨年4月に公布された「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律」(住宅セーフティネット法)の一部を改正する法律を受けて、市ではどのように対応しようとしているのか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>



一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野 広嗣	3 学校図書館の充実について	(1) 文部科学省は、「学校図書館ガイドライン」を策定し、これからの時代にあった学校図書館の在り方を示し、学校図書館について、学習センターや情報センターとしての役割を求めている。今後、このガイドラインを参考に、学校図書館の整備充実をどのように図っていくのか問う。	教育長
3 小辻 一海	1 環境行政について	(1) 施政方針では平成32年度までとなっている生物多様性地域戦略策定の進捗状況と今後の取り組みについて問う。 (2) 生物多様性地域戦略策定に向けた市民参加の在り方について問う。	市長 市長
	2 道路行政について	(1) 県道塗木大隅線大野原地区改良工事の完了時期について問う。 (2) 国道220号線沿いの上天神ガソリンスタンド前の歩道整備と信号機設置に向けた進捗状況と今後の見通しについて問う。	市長 市長
	3 六次産業化について	(1) 六次産業化の推進が一次産業である農林水産業の振興策として重要になってくると思うが、六次産業化の推進に向けた今後の取り組みについて問う。	市長
	4 財源の裏付けについて	(1) 施政方針で「市民目線で市民が主役のまちづくり」を政治理念に掲げているが、「市民生活の利便性向上」の実現に向けた施策の財源の裏付けについて問う。	市長
4 八代 誠	1 防災行政について	(1) 「志布志市防災計画」について ① これまでの防災会議の開催状況について問う。 ② 防災会議の結果を踏まえた防災計画の見直しと、その周知の在り方について問う。 (2) 「志布志市津波避難対策緊急事業計画」について ① 策定に向けた進捗と今後のスケジュールについて問う。 ② 最新版の「防災計画」と「津波避難対策緊急事業計画」の関連について問う。	市長 市長
	2 庁舎の在り方について	(1) 施政方針で示された庁舎の在り方について ① 「本庁舎移転検討委員会」の活動内容等について問う。 ② 今後の「本庁舎機能移転」の具体的な手法について問う。 (2) 志布志支所への移転は防災上、課題やリスクが大きいと考える。対策はあるのか問う。	市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月 定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 尖 信 一	1 法令遵守について	(1) 前市長の任期中であるが、ここ 1 年余り職員の不祥事が散見される。法令遵守についてどのような指導をしているのか問う。	市 長
	2 ふるさと納税制度について	(1) ふるさと納税制度については、かなり認知されてきているが、今後の推移をどのように予測しているか。また、新たな寄附者獲得へ向けた取り組みについて問う。	市 長
		(2) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）への取り組みにより、人口減少の歯止めと若者の所得増が図られるのではないかと考えるが、本市の取り組み状況について問う。	市 長
	3 学力向上について	(1) 本県は巷では教育県と言われているが、本市ではこれまで学力向上に向け、どのような施策を実施してきたか。また、現在の問題点等をどのように把握し、その解決のため今後はどのような方針や手法で学力向上を目指すのか問う。	市 長 教育長
4 補助金の在り方について	(1) 平成30年度当初予算の市単独の補助金はなぜ一律 1 割カットだったのか問う。	市 長	
6 市ヶ谷 孝	1 介護保険について	(1) 平成30年度から介護事業については、「施設から在宅へ」「選択制介護へ」という国の方針が決まり、大きく変化していく。介護事業者はこれまで以上に地域に密着し、自立支援をサポートする事業所作りが求められる時代となってくる。財源も厳しさを増す中、各事業所との連携など、このことにどのように取り組んでいくのか問う。	市 長
	2 選挙について	(1) 平成28年の「公職選挙法等の一部を改正する法律」の施行により、選挙権年齢の引き下げが行われたが、本市においても投票率低迷は依然として課題であると考え。他自治体では、選挙管理委員会が選挙公報を発行するなど、投票率向上に取り組んでいるが、本市でもこのことに取り組む考えはないか。	選挙管理 委員会 委員長
7 平野 栄 作	1 防犯組織の拡充について	(1) 霧島市では、自主防犯パトロール隊として99の団体が組織され、それぞれの地区で活動している。その構成は、安全モニター・学校・自治会・タクシー会社・郵便局・青年団・企業・第一工大生等、様々である。本市では防犯協会の安全モニター・退職校長会・市役所・民間団体がそれぞれ青パト活動を行っているが、市内全域をカバーするには至っていないと感じる。安心安全なまちづくりに向け、組織及び団体の拡充策に取り組んでいく考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7 平野栄作	2 地域活性化策について	(1) 新規事業として「地域コミュニティ形成促進モデル事業」が提案されているが、コミュニティの活性化にはあらゆる方向からのアプローチが必要になると感じることから、以下の点について問う。 ① 本事業の具体的な取り組み内容を示せ。 ② 1年かけて研究するとのことであるが、モデル事業の結果を他の校区にどのように波及させていくのか。 ③ 合併当初に取り組んだチャレンジデーへの参加も効果的と考えるが、活用すべきではないか。	市 長 教育長
8 南 利尋	1 地域活性化について	(1) 自治会の衰退は、校区公民館の運営にまで影響することが懸念される。今回の補正予算では、校区を単位とした地域コミュニティ形成促進モデル事業が新たに計上されているが、各自治会の活性化への対応はどのように実施していくのか問う。 (2) 各自治会の活性化には、自治会担当職員の役割を明確にすることが重要になると思うが、考えを問う。	市 長 市 長
	2 畜産振興について	(1) 平成34年の全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けて、(仮称)志布志市全共対策協議会などの組織を立ち上げ、和牛の改良と日本一連覇に取り組んでいく考えはないか問う。 (2) (仮称)志布志黒毛和牛としてブランド化を目指す考えはないか問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 施政方針で述べられた、観光入込客数120万人に向けた本市の取り組みについて問う。 (2) ダグリ岬周辺整備については、陣岳国際の森を含め、一帯となった整備が必要であると考えるが、本市の現状と今後の計画について問う。	市 長 市 長
9 青山浩二	1 環境行政について	(1) 平成8年に発行された、I S O 14001 (環境マネジメントシステム) について、本市も認証を受ける考えはないか問う。 (2) 学校における環境問題解決等の普及啓発について、児童・生徒と教職員が環境教育にどのように取り組み、実践しているか問う。 (3) 子供たちが自ら考え行動することで、環境に優しい心情を育むとともに、環境保全活動や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする姿勢や能力を育成することを目的とした、学校版環境 I S O について本市も認証を受けるべきと考えるが、見解を問う。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 青山 浩二	2 市内高等学校の支援について	(1) 各種検定受検支援補助金は、志布志高校と尚志館高校の特進科及び普通科の生徒を対象にしているが、尚志館高校の他の学科の生徒にも支援できないか問う。	市 長 教育長
10 東 宏二	1 定住対策について	(1) 奨学金の返還支援による定住対策の実施について問う。	市 長 教育長
	2 観光行政について	(1) 観光入込客数120万人達成に向けた観光振興策として種子島・屋久島航路の開設に取り組む考えはないか問う。  (2) 枇榔島の栈橋については、破損した状態が長年続いている。関係機関等との協議を実施し、枇榔島を観光資源として生かせるよう枇榔島への接岸を可能とする栈橋の整備はできないか問う。	市 長  市 長
11 小園 義行	1 施政方針について	(1) 新制度下で開始初年度を迎えた国保運営については、あらゆる状況に対応できるように取り組んでいくと述べられているが、国保の現状をどのように認識しているか問う。	市 長
		(2) 保険者努力支援制度に積極的に取り組み、自主財源の確保に努めるとあるが、制度について問う。	市 長
		(3) 年収400万円の4人家族（本人が30歳代、妻が30歳代の専業主婦、子供2人）が国保に加入した場合と、同じ家族が協会けんぽに加入した場合の本人負担は、それぞれいくらになるか問う。	市 長
		(4) 年収180万円で生活する単身フリーターの、国保と協会けんぽの本人負担はそれぞれいくらになるか問う。	市 長
	2 子育て世代包括支援センターについて	(1) 本庁の福祉課と保健課の間に設置されているが、場所を含め見直す考えはないか問う。	市 長
	3 JR九州ダイヤ改正について	(1) JR志布志駅は志布志中心市街地と港周辺地域の拠点施設であると述べられているが、今回のJR九州のダイヤ改正について本市としての要望をしたのか問う。	市 長
	4 行財政改革について	(1) 各種団体等への補助金の在り方について、基本的な考え方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
11小園義行	5 福祉行政について	(1) 敬老祝金の見直しについては、庁内で調査・研究したいと述べられているが、予算の範囲内で75歳以上全員に支給することの方がより効果が大きいと考えるがどうか。	市 長
12鶴迫京子	1 一般質問後の経過について	(1) 平成29年12月定例会での一般質問について ① 安楽小学校区内への公園設置と、安楽公民館の駐車場整備についての見解と進捗状況は。 ② 志布志小学校周辺地域のゾーン30について、その後の取り組みは。また、安楽小学校周辺地域のゾーン30化はできないか。 (2) 平成28年12月定例会で、公共交通行政について質問した。施政方針に公共交通ネットワークの再構築とあるが、その実現に向けた具体的な手法について問う。 (3) 平成28年3月定例会で有明グラウンド横や有明地区公民館のトイレ整備について質問した。その後の進捗状況について問う。	市 長 教育長  市 長 教育長
	2 施政方針について	(1) 消防団員の資質向上を図り、車両・資機材・詰所の整備、啓発活動により地域防災力の強化を図るとあるが、女性消防団がより活動しやすい環境の整備についてはどのように取り組んでいくのか問う。 (2) 防犯対策として、防犯カメラの設置も視野に入れながら犯罪発生率の低いまちを目指すとあるが、具体的な設置計画があるのか。また、鉄道記念公園に優先的に設置する考えはないか。 (3) 歴史のまちづくりを推進していくために、年次的に志布志城跡の整備事業などスピード化を図るとあるが、史跡巡りの観光客に対する視点が不足していると考え。周知するための看板設置や、周辺環境整備にも力を入れるべきではないか。また、27年9月に子供の観光ガイド養成について質問したが、この制度を導入して観光の目玉にする考えはないか。 (4) 救急医療体制について、3月の所信表明よりトーンダウンしたように感じられる。今後、具体的にどのように体制を整備していくのか問う。	市 長  市 長 教育長  市 長 教育長  市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野広嗣	1 防災・減災対策について	(1) 昨年の 9 月定例会において、九州北部豪雨災害を受け、我が地域での認識と対応について質問し、提案等も行ったが、その後の取り組みと今回の平成30年 7 月豪雨災害を受けての本市の今後の防災・減災対策の在り方について問う。 (2) 大阪北部を震源とする地震により女子児童が亡くなる事故が発生したことを受け、文部科学省は「学校施設におけるブロック塀等の安全点検等状況調査」を依頼している。本市での学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保について問う。	市 長  市 長 教育長
	2 バイオガスプラントの活用について	(1) 北海道の鹿追町では、国内最大の家畜ふん尿処理施設が稼動しており、そこから製造されるエネルギーの一日の発電量は、一般家庭450戸分の電気使用量に相当する。バイオガスを化石燃料の代替として使用することでCO <sub>2</sub> をはじめとする温室効果ガスが削減され、処理過程で生産される消化液は環境にやさしい高品質の有機質肥料となり、還元されている。家畜ふん尿の悪臭対策や環境の改善も図られ、余剰熱は売電の他、新たな事業にも結び付いており、地域経済の活性化、新たな雇用を創出し、見事な循環型社会を形成している。本市でもこういった取り組みを参考にしながら、畜産基地としての本市特有のバイオガスプラントの活用に取り組む考えはないか問う。	市 長
	3 中心市街地の活性化について	(1) 中心市街地の活性化に向けた本市の今後の方向性について示せ。特に、活性化のための市内の人的体制と基本計画の作成、駅周辺の整備、空き家・空き地・空き店舗対策、商店街の無電柱化等について問う。	市 長
	4 食品ロス対策について	(1) 年間食料生産量の 3 分の 1 が捨てられる食品ロスへの取り組みが全国で広がっている中、一昨年の 6 月定例会で本市の食品ロス対策について質問した。本市のその後の食品ロス削減対策の現状と周知徹底を提案した「30・10 (さんまる・いちまる) 運動」の更なる推進について問う。	市 長 教育長
2 野村広志	1 国際物流拠点志布志港の高まる可能性について	(1) 市長自らが考える志布志港の将来ビジョンについて、「港湾機能の強化」、「まちづくり」、「市民目線」のそれぞれの観点から、思いを示せ。 (2) 志布志港からもたらされる経済波及効果について、どのような分析がなされているのか問う。	市 長  市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 野村広志	1 国際物流拠点志布志港の高まる可能性について	(3) 国際バルク戦略港湾としての整備が動き始めているが、国や県は、国内重要港湾として今後の志布志港をどのような役割や位置付けで見ているのか問う。	市 長
		(4) 鹿児島県における「農林水産物輸出促進ビジョン」～攻めの農林水産業の実現に向けて～の策定を受けて、志布志港を中心とした物流機能強化が、今後更に求められると思う。そこで、国や県の政策を踏まえた中で、港湾を抱える地元自治体としての考えを問う。	市 長
		(5) 今後、志布志港が農林水産物の輸出港として更に飛躍するために真に必要な、輸出に至るまでの手順や、インフラ等の整備のための施策や戦略について問う。	市 長
3 小辻一海	1 郷土芸能・祭りの保存、継承と振興について	(1) 高齢化や人口減少などにより、伝統的な郷土芸能や祭りが各地で無くなりつつある。市内の現状と次世代への継承、保存に向けた取り組みについて問う。	市 長 教育長
	2 観光行政について	(1) 本市の地域活性化やまちづくりに最重要となる観光行政について、今後どのように取り組む考えか、以下の点について問う。 ① 歴史のまちづくり事業について ② ダグリ岬周辺の整備について ③ J R 志布志駅舎等整備事業について	市 長 教育長
4 岩根賢二	1 インターチェンジの名称について	(1) 2020年に供用開始が予定されている東九州自動車道の本市内のインターチェンジについて、独自の名称を提案する考えはないか。	市 長
	2 運転免許証自主返納支援事業について	(1) 現在のタクシー利用券交付の他にも支援策は考えられないか。	市 長
	3 本庁舎移転について	(1) 「本庁舎移転検討委員会」では、今までにどのような項目について協議したか。 (2) 「移転」の時期をいつ頃と想定しているのか。 (3) 市民への説明の場を早い時期に設けるべきではないか。	市 長 市 長 市 長
5 尖 信一	1 観光特産品協会の在り方について	(1) 本市は特産品や観光の振興に向けて、協会をどのように位置付けているのか。また、今後どのように連携をしていくのか問う。 (2) ふるさと納税の一部委託業務を担っているが、現状を最適な委託方法と考えているのか問う。	市 長 市 長
	2 志布志城の再興について	(1) 志布志の山城について、部分的にでも短期間のうちに再興する考えはないか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 尖 信一	2 志布志城の再興について	(2) 滞在型観光を図るための山城を整備し、他の自治体と連携して本市の観光資源を最大限に利用して、観光入込客の獲得を図るべきと考えるが、見解を問う。	市 長
	3 防災対策について	(1) 現在の防災対策で万全なのか、想定外を排除した計画となっているのか問う。	市 長
		(2) 津波避難対策としての避難タワー建設の具体的な進捗状況について問う。	市 長
		(3) 避難訓練が行事化しており、より現実に即した避難訓練になるよう、昼夜を問わない避難訓練の実施を検討すべきと考えるが、見解を問う。	市 長
4 上町通りの活性化について	(1) 公約で本庁機能の一部を志布志支所へ移転することで、商店街の活性化を図るとしているが、志布志支所周辺の各自治会が管理する街灯をLED等に変更することで、負担軽減を図る考えはないか問う。	市 長	
6 丸山 一	1 外来生物の駆除について	(1) 近年、市内各地において外来生物のハリビユ（とげ草）、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）、キオビエダシヤク、アカミミガメ（みどり亀）の大発生が見られる。駆除に取り組むべきと考えるが、見解を問う。	市 長
	2 ブロック塀等の安全対策について	(1) 大阪市内の小学校敷地のブロック塀が地震により倒壊し、小学生が犠牲になる痛ましい事故が発生したが、市内の公的施設の調査とその対応は進んでいるのか問う。	市 長 教育長
(2) 市道等でブロック塀等が、緊急車両の通行の妨げになっている箇所や、倒壊の危険性がある箇所を把握しているか問う。		市 長	
7 南 利尋	1 環境の保全管理について	(1) 地域においては、自治会単位での草払い等の景観保全が困難になってきている。市は景観維持・保全に向け、どのように考えているか問う。	市 長
		(2) 港湾地区における環境整備について、市民の声や現状を関係機関で共有し、対応できる体制が必要ではないか。	市 長
	2 安全対策について	(1) 先日、港湾地区において交通死亡事故が発生したが、関係機関と連携した安全対策が必要ではないか。	市 長
(2) アピア前の市駐輪駐車場において、月 2 回の資源ごみ収集が行われているが、頻繁に行き交う人や車に対する安全対策は万全か。		市 長	
(3) 市内の防犯カメラの設置状況について問う。		市 長	



一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7 南 利 尋	3 観光振興について	(1) ダグリ岬周辺は、観光振興計画において重点地域に位置付けられているが、危険箇所や景観の悪い箇所が散見している。早期に改善すべきではないか。 (2) 観光入込客120万人に向け、港を生かした観光地整備は考えられないか。 (3) 観光客のニーズは多種多様であり、思いも寄らないツアーが人気となることもある。本市でも既存施設を活用し、新たなツアーを検討すべきではないか。	市 長 市 長 市 長
	4 移住定住対策について	(1) 元気なまちづくりには、若者の移住定住が必要不可欠である。本市の現状に魅力を感じないという若者の声を多く聞くが、移住定住策の一環として、若者の意見を聞き、施策の参考にするような仕組みづくりに取り組む考えはないか問う。	市 長
8 久 井 仁 貴	1 志ふれあい交流館について	(1) 志ふれあい交流館はどのような目的で造られたのか問う。あわせて現在の活用状況を問う。	市 長
	2 市立図書館について	(1) 市立図書館の有効活用、利用者の利便性向上を図るため、パソコン等を持ち込んで使用できる環境、スペースの確保はできないか問う。	市 長 教育長
	3 有害鳥獣対策について	(1) 本市における有害鳥獣による被害状況を問う。あわせて有害鳥獣による被害を減少させるための対策について問う。	市 長
9 平 野 栄 作	1 環境行政について	(1) 本市では、「志布志市ポイ捨て防止条例」が制定されており、市の責務として「市民等及び事業者と一体となって、共生協働によるポイ捨てのない美しいまちづくりの推進に必要な施策を実施しなければならない」とあるが、以下の点について問う。 ① 不法投棄の現状と本条例違反の該当件数を示せ。 ② 事業者へも責務を課しているが、具体的にはどのようなものがあるのか。 ③ 取り組みから10年以上が経過したが、新たな施策の検討も必要ではないか。 (2) 小中学校における環境学習の現状と成果をどう認識しているか。	市 長 教育長
	2 指定管理施設の運営について	(1) 志布志市開田の村管理組合は、指定管理者として開田の里公園と農業歴史資料館等の管理運営を行っているが、他の指定管理者はNPOや公益財団、社団法人、社会福祉法人、有限会社、株式会社などである。今後安定的に継続性を持たせ、施設の持つ特性を生かした活動をこれまで以上に広く展開するには、NPO化も必要と考えるが見解を示せ。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 平野 栄作	3 地域活性化への取り組みに対する支援策について	(1) 志布志港を中心に、港の周囲は今後相当規模の発展が期待されるが、その後背地においては自治会の少子高齢化をはじめとするあらゆる問題が山積している。各地区では地域活性化を目指し、地区毎の特性を生かした取り組みも重要になっていくと思う。これらの取り組みに対して、市はどのようにバックアップしていくのか。	市 長
10 八代 誠	1 雇用について	(1) 本市の雇用創出状況及び就業の実態について問う。 (2) 厚生労働省が示す「平成30年度地域別最低賃金改定状況」、総務省が示す市区町村「ラスパイレス指数及び平均年齢・平均給与月額等」の数値について、市長の見解を問う。 (3) 本市でも労働現場においては外国人技能実習制度により、外国人実習生を受け入れている農家が増加している。国に対して、外国人実習生を受け入れられる職種の拡大などの「特区」を提案する考えはないか問う。	市 長 市 長 市 長
11 持留 忠義	1 茶業振興について	(1) 緑茶の販売価格は消費の停滞により依然として厳しい状況にある。そこで、リーフ茶、ドリンク類・インスタントティー、てん茶、発酵系茶のそれぞれの現状認識とその対策について問う。	市 長
	2 畜産振興について	(1) ここ10年間の推移を見ても50%近く肉用牛の飼養戸数・飼養頭数共に減少しているが、減少対策と増頭施策について、市の見解を問う。 (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業の実績について問う。あわせて現在この事業は発動しているのか問う。	市 長 市 長
12 鶴迫 京子	1 観光行政について	(1) 平成20年6月定例会で陣岳の国際の森について質問しているが、国際の森をはじめとしたダグリ岬周辺を一体的に捉え、本市の観光の目玉として総合的に取り組む考えはないか問う。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 団塊の世代の高齢化による多死社会を迎える前に、死亡後、自治体が納骨など人生の締めくくりを手助けする「終活」支援事業が広がっている。神奈川県大和市・横須賀市、千葉県千葉市など先進事例に倣い、本市でも納骨までの公的支援事業に取り組む考えはないか問う。	市 長
13 小園 義行	1 福祉行政について	(1) 本市及び市内民間事業所の障がい者雇用の現状を問う。 (2) 障がいのある子供たちが通う、放課後等デイサービスの現状を問う。	市 長 教育長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
13小園義行	1 福祉行政について	(3) 放課後等デイサービスについて、4月の報酬改定による影響を問う。	市 長
		(4) 敬老祝金は75歳以上全員に予算の範囲内で支給した方が効果は大きいと考える。見直しは考えられないか問う。	市 長
	2 農業振興について	(1) ネオニコチノイド系農薬の普通作での使用状況について問う。	市 長
		(2) 斑点米の割合による国の等級判定制度を見直すよう国に声をあげるべきと思うがどうか。	市 長
3 青年就農給付金事業について	(1) 青年就農給付金事業による新規就農者の推移について問う。	市 長	
	(2) 国は、本事業について中間評価制度を導入しているが、その影響について問う。また、本市ではその評価の見直し基準を策定しているのか問う。	市 長	
4 男女共同参画について	(1) L G B Tに対する認識と、本市の啓発や対応について問う。	市 長 教育長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 野村広志	1 農業施策について	<p>(1) 米国を除く環太平洋連携協定参加国による新協定「TPP11」の発効が間近に迫っている中、本市の基幹産業である農業にどのような影響が懸念されるのか。また、影響を抑える支援策について問う。</p> <p>(2) 「TPP11」の発効に備えて、儲かる農業の仕組みづくりに向けた本市の農業施策をどのように導いていく考えなのかを問う。</p> <p>(3) 国会において、出入国管理法改正案を巡り新たな在留資格を創設する議論が進められている中、本市の農業分野での外国人技能実習生の受け入れ状況と課題について問う。</p> <p>(4) 外国人技能実習生を受け入れている農業経営体の方々は、外国人が地域で円滑に暮らせるよう日常生活に細かく気を配っている。実習生を受け入れている農業経営体への支援の現状について問う。</p> <p>(5) 農業用廃プラスチックの処理費の高騰により、農家の負担が増している。本市の現状について問う。</p> <p>(6) 国においては、農業用廃プラスチックの処理施設新設に対する支援策を強化する動きがあるが、本市としても取り組む考えはないか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
2 小野広嗣	1 市民と行政の協働によるまちづくりの推進について	<p>(1) 少子・高齢化や価値観の多様化等による社会環境の変化により、地域の課題は増加し、画一的な行政サービスから、市民のニーズにあった課題解決の方法が強く求められているが、その全てを行政が解決することは困難な状況となってきた。今後は、市民と行政の協働によるまちづくりを推進する新しい仕組みづくりを構築する必要があるのではないか。</p> <p>(2) 総務常任委員会の所管事務調査で訪れた岩手県一関市では、地域づくりの在り方について「行政主導型」から地域と行政が連携して進める「地域協働型」への転換を図るため、地域協働体の体制強化と活動支援を柱とした各種制度の構築から実施に至るまでの基本的な事項を定めた「一関市地域協働推進計画」を定めていた。地域協働体が地域で議論し、地域全体の将来像を描きながら、地域の特性を生かした事業や、地域の課題解決につながる事業を進めており、参考になった。本市においても、市民と行政との「協働推進計画」を策定すべきではないか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	2 市民サービスの向上について	(1) 市役所は、志布志市における最大のサービス業であり、市民はお客である。いかに市民のために働き、喜んでもらえるかが重要である。接遇研修等も行われているが、職員の市民への対応について、市長は就任以降、どのように認識し、評価しているのか。	市 長
	3 公用車へのドライブレコーダーの設置と無事故対策について	(1) 公用車へのドライブレコーダーの設置は、公用車を運転する職員の安全運転の意識を向上させるとともに、事故が発生した際、責任の明確化と処理の迅速化を図るという効果もあり、既に多くの自治体で導入されている。本市も公用車の購入の際には、ドライブレコーダーを設置しているが、ドライブレコーダーは移動可能な防犯カメラとしても非常に有効であり、事故防止と犯罪防止のためにも、前倒しして設置台数を増やすべきではないか。	市 長
	4 幼児教育の無償化について	(1) 国は幼児教育の無償化について、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから、消費税率引き上げ時の2019年10月1日からの実施を目指している。実施までの期間が短く、新たな財政負担も必要になるなど課題も多いと思うが、どのように認識し、対応しようとしているのか。	市 長 教育長
	3 尖 信一	1 教育行政について	(1) 本年度の本市の全国学力・学習状況調査の結果について、どのように捉えているか問う。また、その結果に対する具体的な対策について問う。 (2) 本市の小・中学校に在籍する教職員の勤務実態は、現在国が進めている働き方改革の主旨に沿っているか。また、教職員が効率的に校務を行えるような対策をとっているか問う。
3 尖 信一	2 防災対策について	(1) 11月に実施した防災訓練における問題点の把握と、その改善点について問う。 (2) 本市の消防団員の、防災に対する日々の活動及び研修会等への参加状況について問う。	市 長 市 長
	3 個人情報保護法の運用について	(1) 昨年の個人情報保護法の改正後に、様々な補助団体の地域活動に支障を来たしている。この改正を受け、どのように団体の活動を支援しているか問う。	市 長 教育長
	4 中心市街地の活性化について	(1) 中心市街地の空洞化に対し、どのようなまちの将来像を描いているのか、今後のまちづくりについて問う。	市 長
	4 青山浩二	1 税外収入について	(1) 市の財源確保のため、公共施設の命名権売却（ネーミングライツ）を導入する考えはないか問う。

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
4 青山 浩二	2 体育施設の整備について	(1) 有明野球場周辺に屋内練習場を整備する考えはないか問う。 (2) 有明野球場のスコアボードを電光掲示板にする考えはないか問う。 (3) 有明野球場の内外野を囲むコンクリートフェンスを、選手の事故や負傷を防ぐ観点から、ラバーフェンスに改良する考えはないか問う。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長
	3 伊崎田地区定住促進住宅用地について	(1) 本年6月に分譲を開始し、7区画が全て売却された伊崎田地区定住促進住宅用地のうち、2区画が建築前の地質調査において、軟らかい層の不均一な分布により、建築物の安全性が確保できないとの判断がされている。分譲地購入者は地盤改良工事に係る費用負担を余儀なくされることになる。購入者の負担軽減をはじめ、分譲地の安全確保について、市としてどのように関わっていくのか問う。	市 長
5 八代 誠	1 有害鳥獣被害対策について	(1) ここ数年における本市の有害鳥獣被害への対応策と実績について問う。	市 長
		(2) 有害鳥獣被害対策については様々な課題があることを踏まえ、今後どのように対応していく考えか問う。	市 長
6 南 利尋	1 福祉行政について	(1) 福祉タクシーなど、福祉サービス利用者から接遇に対する意見や要望を聞く。どのように改善していく考えか問う。	市 長
	2 公共施設の活用について	(1) 利用手続きを簡素化するなど、既存の公共施設を活用し、健康増進や交流を図る考えはないか問う。	市 長
	3 農畜産業の振興について	(1) 志布志市産の農畜産物の販路確保の在り方について問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) 近隣自治体では、観光振興計画が着実に進められているように見受けられる。本市の現状について問う。	市 長
		(2) 旧志布志町で取得した夏井、陣岳地区の市有地の利活用について問う。	市 長
	5 中心市街地の活性化について	(1) 中心市街地には、多くの空き店舗が見受けられる。行政としても空き店舗解消に向け様々な情報発信をしていくべきではないか。	市 長
6 公用車の広告について	(1) 公用車を市内企業の広告（ラッピング）に利用すれば、志布志市のアピールとともに、安全に心掛けた運転等コンプライアンスにもつながると考えるが、取り組む考えはないか問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7市ヶ谷 孝	1 防災行政について	(1) 本市では、毎年11月1日に地震・津波防災訓練を実施しているが、市長としてはじめて臨んだ今年度の防災訓練をどのように捉え、分析されたのか問う。	市 長
		(2) 想定外の規模の災害が多発する近年、本市における被災時の状況想定も思考を止めることなく、常に考え改善していかなければならない。「備えていたことしか役には立たなかった。備えていただけでは十分ではなかった」という言葉を耳にするが、緊急時に市民の生命を守るためには、平時の準備が大切である。そこで下記の項目について市長の考えを問う。 ① 避難タワーの設置箇所を含めた避難場所の在り方について ② 非常食の備蓄状況について ③ 異なる住環境にある各家庭の避難経路の確保につながる周知の在り方について	市 長
8鶴迫京子	1 子育て支援について	(1) 産前産後ママサポート事業について 文教厚生常任委員会の所管事務調査で訪れた長崎県島原市では、出産前後の育児や家事に係る負担を軽減し子育て家庭を支援するため、出産前2か月から子どもが1歳を経過する日までの期間にある妊産婦に対し、育児及び家事等の援助を行う「産前産後ママサポーター」を派遣する事業を実施している。本市においても先進事例に倣い、事業を導入する考えはないか。	市 長
		(2) すこやか赤ちゃん支援事業について 少子化対策の一環として、子育て家庭の経済的負担を軽減し安心して子どもを産み育てることのできる環境を目指し、紙おむつや粉ミルク等赤ちゃんの育児用品購入費用の一部を助成する事業も実施している。本市においても導入する考えはないか。	市 長
	2 学校給食費の無償化について	(1) 同じく佐賀県みやき町では、学校給食費の無償化について調査した。市長の公約で学校給食費の無償化を明言されているが、現在の進捗状況と今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長
	3 高齢者福祉について	(1) 有明会場で開催した議会主催の「市民と語る会」において、ひとり金婚式の在り方について、意見・要望があった。このことについて市長の考えを問う。	市 長
4 交通行政について	(1) 本市の福祉タクシーや通学バスなども含めた総合公共交通システムの構築に向けた取り組みの進捗状況と今後の方向性を問う。	市 長 教育長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 小園 義行	1 嘱託職員等の働き方について	(1) 会計年度任用職員制度に向けての対応について問う。 (2) 新制度下での嘱託職員等の働き方はどのように変わるのか問う。 (3) 新制度で自治体の役割はどうなるのか問う。 (4) 障がい者雇用についてどのように考えているのか問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 正規職員の働き方について	(1) 正規職員の病休等での欠員に対する対応は、現状を把握したうえで早急に十分な対応が必要と考えるが、どのように対応されているのか問う。 (2) 現在、本市の障がい者雇用については身体障がい者が主となっているが、知的障がい者や精神障がい者の雇用について、どのように考えているのか問う。	市 長 市 長
	3 福祉行政について	(1) 国において保育所保育指針が改定され4月から施行された。10項目からなる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が新設された。このことをどのように受けとめているか。また、それぞれの法人への対応について問う。	市 長 教育長
	4 水道事業について	(1) 国会において水道事業の民営化が議論されている。この法案に対する管理者の考えを問う。 (2) 修繕等に対応できる有資格者を市職員として採用し、安定的に運営できる体制を確保する考えはないか問う。	市 長 市 長
	5 漁業振興について	(1) 漁業法改定案が国会で審議されている。どのように受けとめているか問う。	市 長
	6 農林業振興について	(1) 有害鳥獣被害の状況と今後の対応策をどのように考えているか問う。	市 長
	7 教育振興について	(1) 学校へのエアコン設置に向けての今後の取り組みを問う。	市 長 教育長